
【ほのぼの実家劇場】

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【ほのぼの実家劇場】

【Nコード】

N8339T

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

ほのぼの実家の素敵な話

久々に実家に帰ったマサシは口を尖らせて言った。

「だからー。明日には帰るって言ってんじゃん」

マサシの父であるタカアキはゆっくりとなだめる様に言った。

『なに言っただ。ココはおまえの実家だろ。久しぶりに帰ってきたんだ。何日かゆっくりしていけ。母さんも喜ぶ』

「だから、仕事の出張で近くに來ただけだから明日には会社戻んなきゃいけねーの」

『なるほど。立派になったもんだ』

「ところで母さんは？」

『母さんか？実は父さんと母さん離婚したんだ』

「マジで？いつ？」

『マジだ。ええ…と、きのう…じゃなくておととい…だっけ？アレ？今日何曜？』

「水曜」

『じゃあ、おとといだ。スマスマの日だから』

「ふん。理由は？」

『まあ、お互いの価値観や、心境や、悩みや……』

「具体的には？」

『父さんの浮気だ』

「…ふん。じゃあ、母さん来ねーじゃん…」

『そーだな』

「ポチどこいったの？玄関にいないけど？」

『ああ。ポチな。父さんが食べた。腹が減ってたから。まあ、時給自足ってヤツだ』

「へえー。サバイバルじゃん」

『まあな。そんなことより、そろそろ晩飯にしよう。久々に帰ってきたんだ。何が食べたい？』

「肉」

『やっぱり肉か。丁度良かった』

「なんで？」

『冷蔵庫に余ってるんだよ』

「なにが？」

『ポチの肉だよ』

「いらねーよ。残酷だな」

『そーか。じゃあ、おまえの肉にするか』

「おれ？」

『そーだ。おまえだよマサシ』

「冗談だろ？」

『冗談だ。豚肉を買ってこい。あとコーヒー牛乳と、お釣りあまったらテキトーなヤツ…惣菜とか、つまめる系のヤツにしろよ』

TURURURURURURURU!

TURURURURURURURU!

TURURURURURURURU!

「…父さん。電話出なくていいのかよ」

『いいんだ。きっと母さんからのイタ電に決まってるー!!!!』

そう言って父のタカアキはテーブルをひっくり返した。

そして

しばらくしてから一緒に戻した。

そして、翌日マサシは実家を後にし、都会のアパートへと帰って行った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8339t/>

【ほのぼの実家劇場】

2011年10月9日04時50分発行